

令和6年10月16日  
北九州市都市ブランド創造局

第35回特別企画展

## 門司情景-文学でたどる

九州・アジアの玄関口であり、日本海と瀬戸内海を結ぶ門司は、古くから軍事・産業・交通において極めて重要な地域であった。

明治期に入ると、鉄道が敷設され、港が築かれたことで筑豊からの石炭の輸出港として急速に発展、大正・昭和期にも貿易港として発展を続けた港町である。陸海両面の交通の要衝として、多くの人、ものが集まり、多くの文化が交差する場所でもあった。門司を訪れた文学者は数多く、門司を書いた作品も多くある。

本展は、門司を訪れた文学者と門司を書いた作品を通じて「文学」の視点から門司という地域を立ち上げることを目的とする。

本年は門司築港会社の設立、特別輸出港の指定から135年、門司市制施行125年、現門司港駅開業110年の記念年であり、あらためて門司の文化・文学に着目する。

**会期** 令和6年10月26日(土)～令和7年1月26日(日)

9:30～18:00(入館は17:30まで)

**会場** 北九州市立文学館「1階企画展示室」(小倉北区域内4-1)

**観覧料** 一般240円 中高生120円 小学生60円

**【開会式】** 10月26日(土) 10:00～10:15

主催者あいさつ、来賓あいさつ、テープカット

**【関連イベント】**

学芸員によるギャラリートーク(展示解説)

第1回 令和6年11月10日(日)

第2回 令和6年12月28日(土)

第3回 令和7年1月11日(土)

いずれも時間は、14:00から(40分程度)

事前の申し込みは要りません。

※ 企画展の詳細については、別添「チラシ」をご覧ください。

**【問い合わせ】**

北九州市立文学館 (担当) 山本、山家

Tel 093-571-1505 Fax 093-571-1525

